

令和 2 年度工賃向上計画書

作業工賃 令和 2 年度目標工賃額 (月額)		作業工賃 令和元年度平均工賃額実績 (月額)	目標工賃を設定する、達成するための目的	
月額 30,000 円		29,066 円	より充実した日常生活を送るため。また、社会参加活動を企業と連携することにより、就職支援にもつなげていく。	
目標工賃を達成するための提案			それぞれの提案のメリットとデメリットを明らかにする	
			メリット	デメリット
1	取引の多い企業を厳選し作業獲得のための提案をしていく。		より多く作業を獲得することに繋がる。成功すれば信頼を勝ち取れる。	取引企業を減らすことは、万が一のときに頼ることはできなくなる。
2	各作業のマニュアルを作成する。		新規利用の方でも具体的にわかりやすく、チームの輪にも入りやすくなる。	
3	施設外就労 (企業内作業) への参加者をより増やしていく。		施設外就労に参加することで、より高い工賃実績につながる。	負担は大きくなるため、細やかなケアに注目すること。
4	通所率の安定化。月額平均工賃は大きく上昇している現状を少なくともキープしていけるよう、個別の支援を充実していく。		個々の精神状態に目を向け支援をすることで、結果全体の安定化につながる。	作業をこなすことに目を向けがちにならないよう気を付ける。
5				
6				
提案から考えるホープ大和の目標工賃向上計画案			目標工賃向上計画案を実行するための計画	
会員企業との施設外就労実績を安定させていく。その作業の取り組みにおいて、マニュアルを作成することでミスが軽減され、コストや時間の削減、効率化につなげていく。 ただし、施設外就労は参加者の負担も大きいため、個々の疲労や精神的なケアにもしっかりと取り組む。			1	光文書院流通センター株式会社での施設外就労見学会を企画する。
			2	各作業場で担当職員がマニュアルを作成する。
			3	個別面談の機会を増やしていく。
			4	
			実行状況を確認する頻度：半年後 (九九カード作業終了時ごろ) に見直しを行う。	